

## 『ふくしま国際メディア村』開村のごあいさつ

東日本大地震、それに関連する被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。3.11大震災は地震だけにとどまらず、津波、原発、風評という災害まで引き起こし、東日本に甚大な被害を与えました。

あの日から3ヶ月が経過しましたが、生活費（光熱費、食費）がネックで避難所から仮設住宅への入居が進まない、避難所にも仮設住宅にも行かず半壊の自宅で暮らす在宅退避者（孤立高齢者）、そして、放射能に振り回される原発避難民など、いまだに多くの被災地は、復興どころか復旧さえ思うように進んでいないのが現状です。

いま私達に求められているのは、現状（いま起こっていることや危険性）への“冷静な判断力”と自分ができることを即座にやるという“行動力”ではないでしょうか。それが“行動の連鎖”となり、いわき、福島、東北、そして日本全体の復興の推進力になると信じております。

「自分にできることは何か？ 机上より行動！」という志を同じくする同士が集まり、このたび地震、津波、原発、風評の4重苦に喘ぐ“いわき”を情報発信地とし、『ふくしま国際メディア村（テント＝ゲル造り）』を、市営長町公園内（福島県いわき市内郷御厩4-64）に開村いたしました（平成23年6月10日）。

今回の拠点となる“いわき市”は東京23区の2倍の面積があり、中心地は福島第一原発から約50Km離れています。しかしながら北端が第一原発から30Km圏に入るため、市全体が「危険エリア」と思われてしまいました。“いわきは危険”という風評はあつという間に広がり、物流だけでなく、農作物、水産物など、ありとあらゆるところに深刻な被害をもたらしております。

被災についての正確な情報がほとんど発信されていません。これが上記のような風評を招き、大きな被害を導いたのです。しかし、これは原発周辺の町だけの問題ではなく、いまや世界の目から見たら、日本全土が危険エリアとみなされている場合も多く、そのための風評被害が続出しています。

当『ふくしま国際メディア村』は海外ジャーナリストに迅速、かつ正確な生の情報を世界に配信してもらうため、情報提供と活動支援を目的とし設立されたものです。また、イベントやフォーラム、セミナーなどを企画開催し、被災地自ら世界に向けて情報を発信していきたいと考えております。皆さまのご理解とご支援をいただき、福島、東北、そして日本全体の復興のために皆さまとともにがんばって参りたいと思います。

平成23年6月吉日

ふくしま国際メディア村  
村長 荻野政男

## 活動内容

### 1. 国内外ジャーナリストの招聘

世界のジャーナリストを『ふくしま国際メディア村』に招聘し取材活動の支援を行う。支援内容としては通訳・取材サポート役ボランティアの手配、被災地情報、復興に取り組む地元民、商店や観光事業者の活動情報の提供など。

### 2. イベント、フォーラム、セミナーの開催

- ・『(仮) いわき、どうするプロジェクト』・・・若者たちに“震災時とその後”“復興に向けてがんばっている人達”のようすをレポートや映像として纏めてもらい発表。
- ・『(仮) 3.11 大震災あのか、外国人への対応はどうだった』・・・災害情報は外国人の耳に届いたのか、など多言語情報発信も含め、在住外国人を交えて討論。
- ・まち再生フォーラム・・・都市プランナーなどまちづくりの専門家やワーキンググループに参加してもらい福島県、いわき市のまち再生プランを研究、発表。
- ・『(仮) 農業、水産どうなるプロジェクト』・・・有識者やワーキンググループに参加してもらい、事業者と再生プランを研究、発表。
- ・『モンゴル力士と交流イベント』・・・遊牧民のテント（ゲル）を囲んでモンゴル力士との交流会を開催。
- ・地元商店街・観光事業活性プロジェクト・・・復興、再生アイデア募集。
- ・国際ナショナルパーティー開催・・・J & Fプラザが主催している外国人と日本人の交流会のいわき版を開催。
- ・『(仮) ふくしま映像の祭典』・・・国内外のプロ、アマ問わず映像で表現をする人たちに集ってもらい、復興するふくしまを撮り、撮影会を開催。
- ・『(仮) 留学生はどうなる？』・・・今後の留学生の動向や留学生 30 万人計画、日本の国際化を停滞させないためにはどうすべきかを議論。
- ・東日本大震災被災動物支援活動・・・被災動物支援活動を行っている『GORON』との協同で支援活動開始。

### 3. 震災支援ボランティアなどへの協力と支援

震災復旧、復興のために活動する団体、個人に対する支援活動。

### 4. 研究機関への支援

震災や放射能汚染の緩和に取り組む研究機関や企業へのサポート（調査研究の手伝い等）。

### 5. ソーシャルメディア（face book , twitter）で情報発信

マスメディアだけに頼ることなく、“自分達がいまできること”をスローガンにフェイスブックやツイッターなどを利用して、世界中の人に“いま日本で起こっていること、そして現状はどうか”の生の情報をみんなで発信。

## 組織概要

### 「ふくしま国際メディア村 実行委員会」

本 部：東京都新宿区新宿 6-7-1-502 TEL03-5379-5272 FAX03-5379-5274

mail: [fukusima@ichii-re.co.jp](mailto:fukusima@ichii-re.co.jp)

いわき 支部：福島県いわき市内郷御厩 4-71 TEL0246-26-4000 FAX0246-26-1134

ふくしま国際メディア村：福島県いわき市内郷御厩 4-64 長町公園内

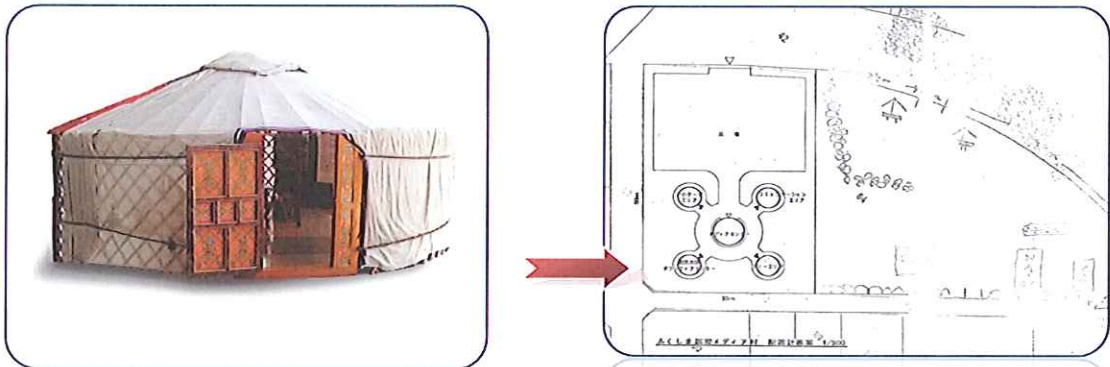
委 員 長:荻野 政男 (株式会社イチイ代表、財団法人日本賃貸住宅管理協会理事、  
(村長) 国際交流委員会委員長)

副 委 員 長:青木 隆治 (パフォーマー代表、NPO リビニンジャパン代表)

副 委 員 長:宮崎 計実 (グローバルコミュニティー代表)

いわき支部長：荻野 武男 (福島県資源研究開発事業協同組合 理事長)

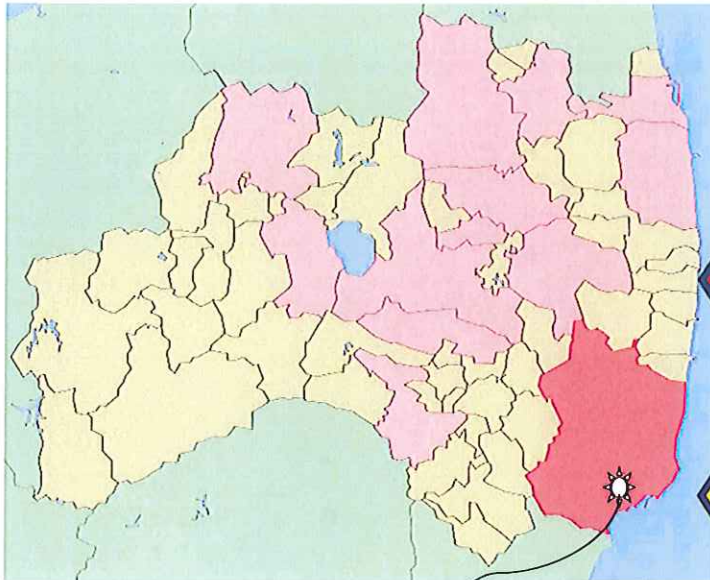
顧 問：柳下 久米夫 (元東京税理士会常務理事、NPO スペシャルオリンピック日本・  
東京理事、一般社団法人日本 FOS ゴルフスクール指導者協会・理事長)



現地案内図：常磐線いわき駅から車で約10分。メディア村から車で10分圏内にはいわき市役所、災害対策本部、警察署などがあります。



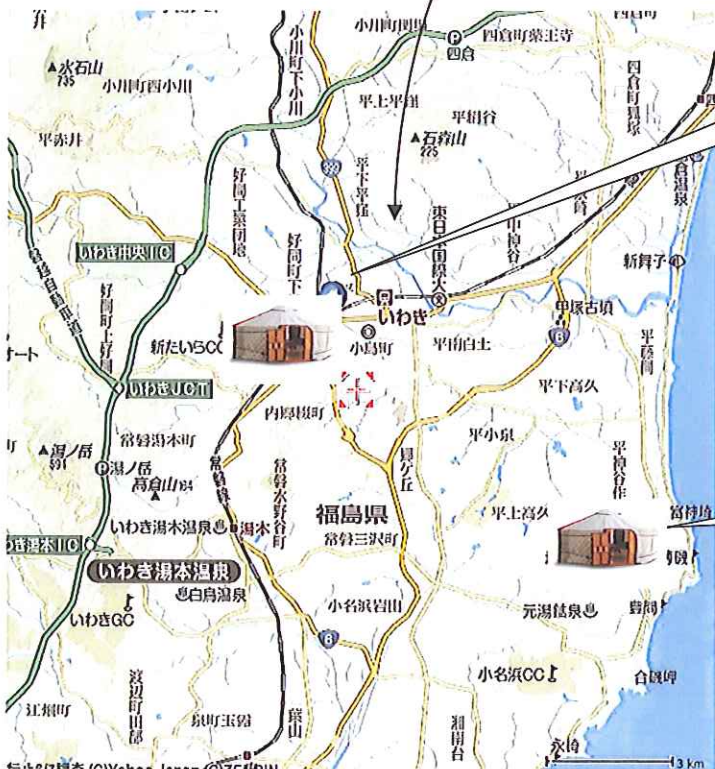
## いわき市とふくしま国際メディア村の位置



いわき市は県内最大の人口（約 34 万）都市で、面積は東京 23 区（621 平方km）の 2 倍（1231 平方km）あり、東北では人口が 2 番目（1 番は仙台）、面積は鶴岡市、宮古市について 3 番目の大きさです。

福島第一原子力発電所

いわき市北端は原発から 30 キロ圏内だが中心地は 50 キロ。



ふくしま国際メディア村  
いわき支部



ふくしま国際メディア村  
豊間支部

